

509

國と
代議
者の
意見。

大なる矛盾だ、それゆえに日中政府が昔々の待遇
に對し、中立に及び、而して十字と通に暴電抗議
を申入るゆえに、中外に向つて米口の非人道振
りと叱咤した事には、鬼切の如きもの。單なる所謂
大隊長輩の面子や此の問題では、一、二私人的
問題だ。貰つた記念品は米口に利用される事は
明かだ。臨味等の無い島原供の集りである。大
隊長會議なんかは、此際断然解消すべきだ。
彼等は、これを大問題の識別かどうかというた
から危険至極だ。いや、いとも其の Internes 中
に多数の識者から、次に、一部から声の勃発
するであらう事は増し期である。

二月十六日(火)。

記念品
取消

記念品贈与問題は、果して物議を醸し、昨夜
既に各方面に亘つて、反對と代名者攻撃の聲が
轟々として勃発し始めた。今朝マスコミにも代
名者達に對する非難の聲が猛烈を極めてゐる。
永松大隊長は、昨日各ハウツと巡訪して、き
記念品贈与の件は取消する事を知告した。其の
責任につき一度は釋明すべきが、然るに其も拘
らぬ性根にて報告の形式を以て自己の不明を
顧みない、彼の態度は薄島席と見た方がよい。

前の大隊長宮川氏は、現在何ら Internes 内に
於ける、公職と有るが、又 Profession の仕事も

犬
か
店
る。

け予にておきか、以下軍部から月額20万と支給さ
れ、且つ特別の通年に従う毎に五万の支給を
受けてゐる。従つて戦後は軍部に月俸二万
五千の椅子の豫約をして居ると付へられ、之
には或る確たる筋へ自己の口から漏れたつた
と謂はれるのだ。彼が下で軍息と伺ふ仔が居る
事も想像できるとは一般の観方である。

田
中
排
行
運
動。

田中トウターは頗る不親切であり、患者に好ま
さず嫌ひと甚に不都合だ、宜うは病院責任者と
しての位置を去れ、若し肯んせうは演説会と聞
き、正面から排斥の矢と敢て辭任せしむべしと、
一部の田中排斥グループが、以下旺んに替り運
動を起し、及びト等の Area にも同志を募る
との情報も同上者から秘密に傳へて来た。依
つて同志と共に、田中君をバウツ外に呼び、此
の旨を耳に入し、辭める事を勧告した。今更にも
自分は何時でもやめると答へた。田中君は傷を
つけぬ様にするは自費的に早く辭任せよとせ
るのが最善だと思ふ。もし頑強には早か大き
く成つて益々ケケが着くのをやらず、お市の
仲間を取つては決して愉快な感じにはないのだ。

田中君、奥山トウターについて軍部の水も
二回に亘り抜き取つて貰ひおさく成つたが、未だ
少し残つてゐる程で、未だ未だ普通軍より、相違
大きく更に診て貰ふ必要を感じてゐる。一昨

511

日、fatigueに従事すべし、知人医により健康診断
が各バウ・アップに実施されし際、ハワイの島橋運
る士(帝大)は、本日も水が残つてゐると診断した。因
に僕は"Class 3"と云ふ、仕事と云ふいふ部類に属さ
せられし。だがまあおかげで務めたい気がする。

× 臼田君長女 May 嬢は十一日 Denver 市に於
て芽生舞舞踊の典を挙げて音入電、全米に通
知し接した。日中度々限りである。之れが平和時
から僕は真つ先きに萬歳を唱へに世かけるとい
ふが、戦時になつて、どうやらん。

子イ
娘嬢
如。

午の七時、J. Area に世かけ大川先生(布哇
禪宗六七)の佛敎講話を聴く。般若經
の講義であるが昨夜で五、六回讀むのであるが黒
板を他に持つて来られるため、經そのものの講義
はふと輕の由米及び南亞西佛敎の起原につき
講義があつた。次回からは輕續にて聴講する
つもりだ。

般若
經
講
義

二月十九日(金)。

一昨夜は例の腹痛が輕微ではあるが、聊か肉に
さされし。輕く胃腸をおさへて寝てゐたが腹に眠りに
ついたらぬぐふたつた。此頃の腹痛は三日に一回
の割合である。之れは便所が遠い事も原因の一つだと
思つて居る。昨日の午、大川先生の徳々、騰高版に
て般若波羅密多心經と持たされ分けて下まつた、